

(12) 読書・図書館教育研究会

会長 山脇 克仁 (中村南小)
副会長 石川 真紀 (蕨岡小)
事務局 伊与田 紗代 (西土佐小)

1. 研究主題

「読書活動の推進と学校図書館の活用」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和元年 5月 8日(水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村南小学校	8名参加
8月20日(火)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容 ○講話 「心をつなぐすてきなご縁～読むこと、書くことを通して～」 講師：安藤 厚子 (高知子ども図書館 副理事長) ○各校の実践交流	中村南小学校	7名参加
11月13日(水)	四万十市教育研究会 研究大会 内容：清水小・中学校の学校図書館及び市民図書館の環境整備の視察 講師：岩井 拓史 (土佐清水市立中央公民館)	土佐清水市立清水小学校 土佐清水市立清水中学校 土佐清水市立市民図書館	5名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

(1) 講話

高知子ども図書館の副理事長である安藤厚子さんを招聘し、読書活動の推進についての講話をしていただいた。読書を推進していくための大切なポイントや本の紹介、ご自身の経験されたことを踏まえた人生観にも触れたお話など、本や人とのご縁を大切にされてきた講話から読書の促進、学校図書館の役割を学ぶことができた。

<講話内容> ※抜粋

① 子どもと本をどう結びつけるか

- ・本を読む時間を確保すること
学校での朝読書や授業、家庭読書

- ・読む本が身近にあること

記念日に本を買う (入学・誕生日・クリスマス・お正月等)
学校図書館や公共図書館の環境づくり

- ・子どもと本を結びつける人がいること (本を手渡す人)

親 教師 図書館員 ボランティア等 *本の話題を提供する

*親子読書 (家族と本を読む)

- ・読書習慣を築くこと

幼少期に絵本をしっかりと読み聞かせし、小中学校の時期に本を読む習慣と力を身に付けさせる。

② 読書教育

- ・教育課程への位置づけ (国語やその他の教科領域、関連図書等、教育計画のどこに入れる)



か)

③ 学び方を学ぶ

- ・読み方 まとめ方 調べ方など

④ 読書で学んだゆかりの地を訪れる、本物に出会う大切さ

- ・宮沢賢治 新美南吉 石川啄木 高村幸太郎 等
- ・JAXA の職員 等

(2) 各校の実践交流

＜読書推進の取組＞

- ・学校図書館の環境づくり ・読書目標の設定 ・図書委員会による活動
- ・おすすめの本（子ども・先生） ・新聞の活用

4. 平成31（2019）年度四万十市教育研究大会

市外の小中学校及び市立図書館の視察を行った。講師や図書館担当の方に施設案内、取組等の説明をしていただき、読書推進、学校図書館の利用についての取組を学んだ。

＜土佐清水市立清水小学校＞

- ・図書委員会の活動
- ・お気に入りの本の紹介、月ごとのクイズ（低学年・高学年）
- ・読み聞かせ



＜土佐清水市立清水中学校＞

- ・高知県教育委員会の学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業を受けて研究を進められ、各教科で図書活用していけるよう年間計画を基に実施している。学習に利用する本の選定は、市や県の公共図書館と連携して利用している。
- ・読書推進として、朝読書、読み聞かせを実施し、移動図書館を利用している。卒業時には読書冊数をもとに表彰する。
- ・調べ学習ができるように図書館から階段でつながるパソコン室があり、学校図書館の環境が整えられている。



＜土佐清水市立市民図書館＞

- ・各種講座、イベントの開催
- ・児童サービス（出張読み聞かせ、図書館ガイダンス、子どもの読書週間等）
- ・学校への支援事業（学校図書館の除籍候補資料の選定）
- ・新図書購入のための本の選定



5. 成果と課題

(1) 成果

- ・長年、本や読書活動に携わってこられた方と出会い、生き方や考え方に学ぶことができた。
- ・講話から児童生徒1人ひとりに合う本と出合わせるための手立てを考えるきっかけとなった。
- ・他校の実践を交流することで、自校に取り入れたい読書推進の取組として参考になった。
- ・三つの施設を通してみることで、小中学校の共通点や市立図書館の運営スタイルなどがつながり、市としての方針が見えてよかった。
- ・本の置き方や管理の仕方などで図書館が変わることに気付き、図書館をどのように活用し、環境を整えていけば児童・生徒が読書と繋がるのか考えることできた。

(2) 課題

- ・学校の規模や環境において、研修で学んだことを活かすきれないところもある。